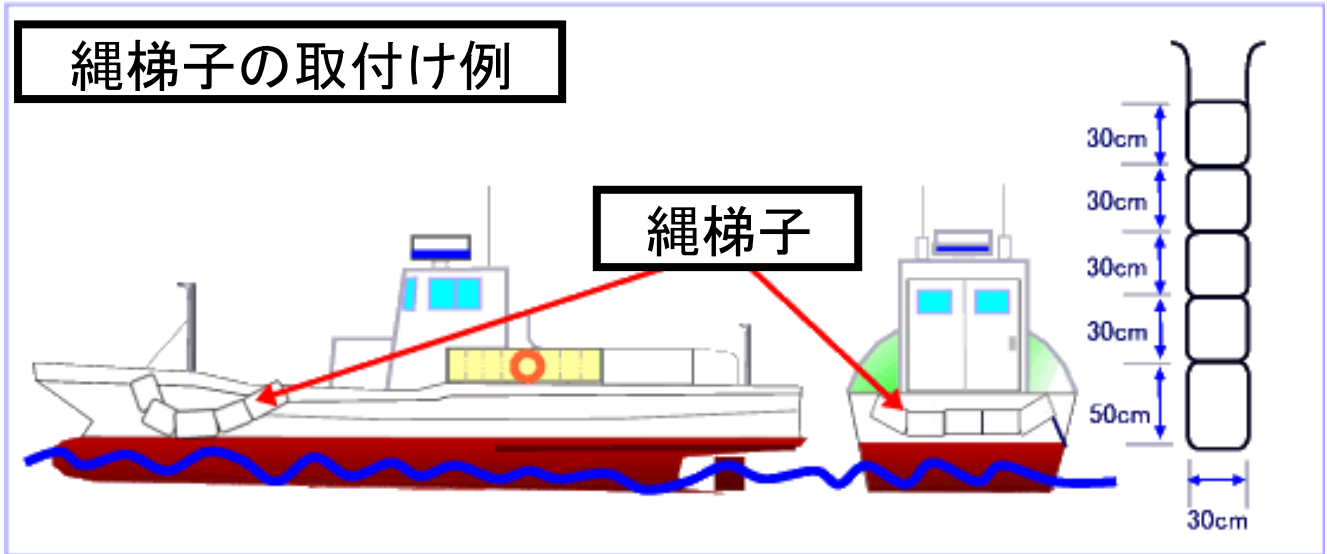


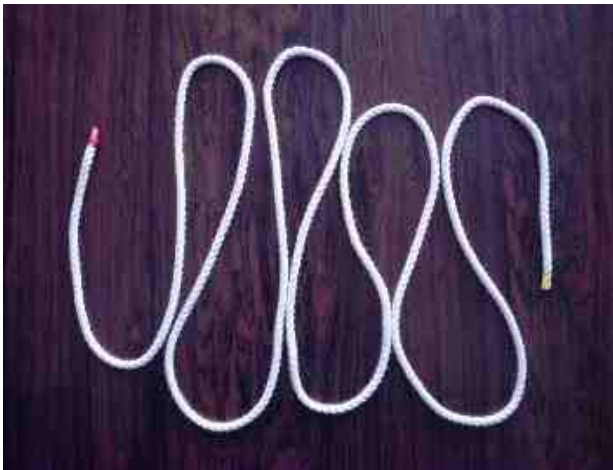
縄梯子の作り方

船舶から海中転落した場合、ひとりで船上に戻るのは非常に困難です。
縄梯子を取り付けることにより、ひとりでも簡単に船上に戻ることが可能になります。
また、海上漂流者の救助にも役立てることが出来ます。



【縄梯子の作成要領】

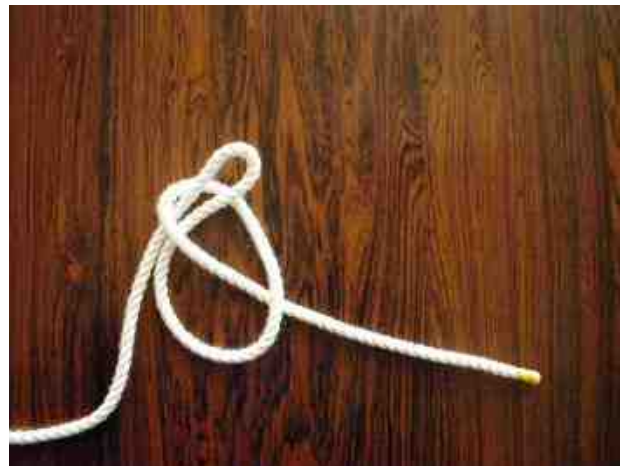
1. 長さ約10メートルのロープを用意します。
2. 梯子の1段目を作ります。



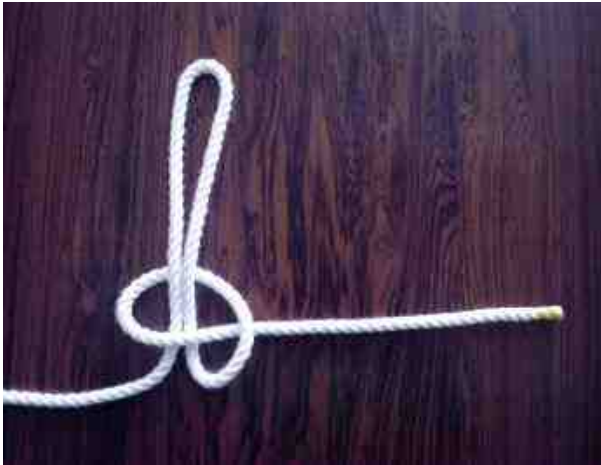
3. ヒッチを作ります。



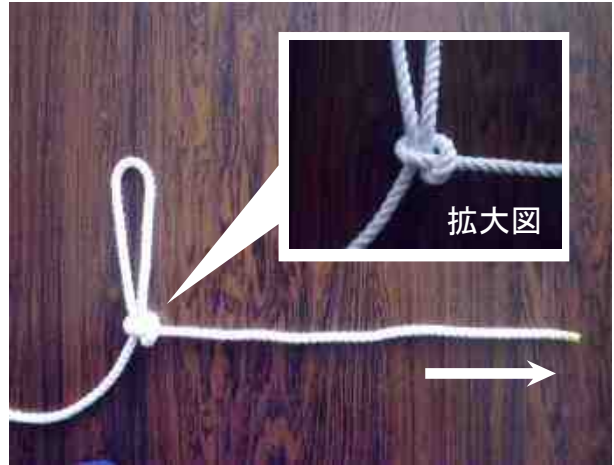
4. ヒッチの中にアイを通します。



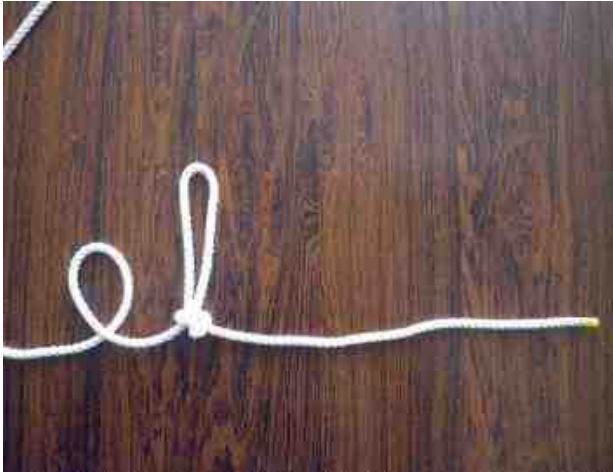
5. こんな形になりましたか？



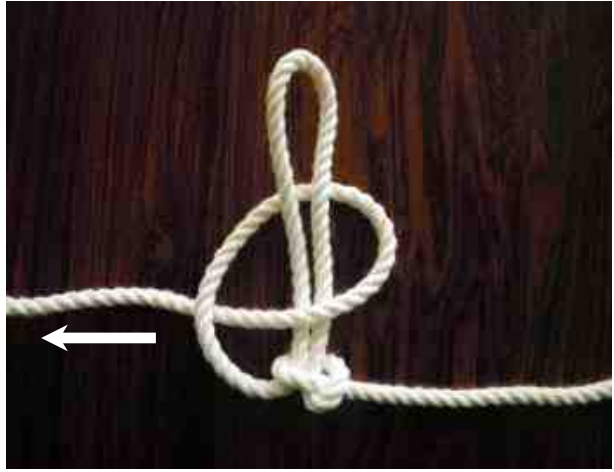
6. ヒッチをキュッと締めます。



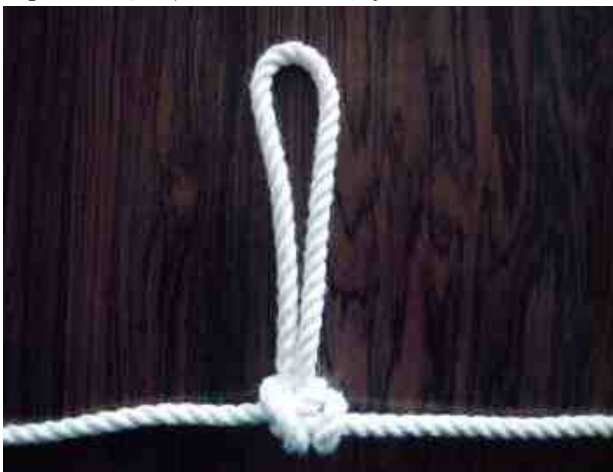
7. 反対側のロープにもヒッチを作ります。



8. ヒッチの中にアイを通します。



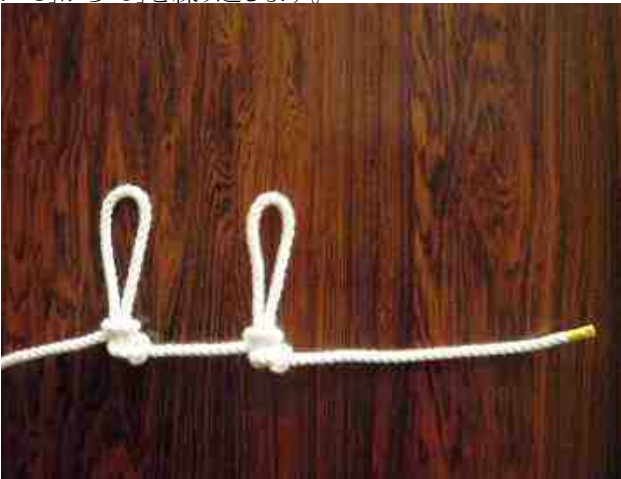
9. 「6」と同じように、キュッと締めます。



10. 続いて2段目に取り掛かりましょう。



11. 「3」から「9」を繰り返します。



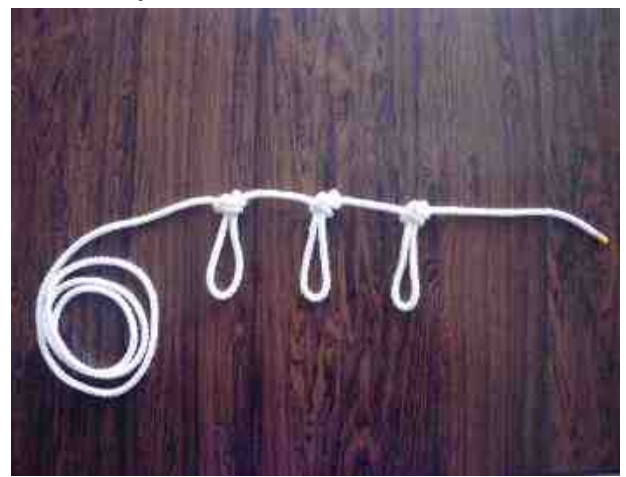
12. 3段目も同じように作ります。できたら・・・



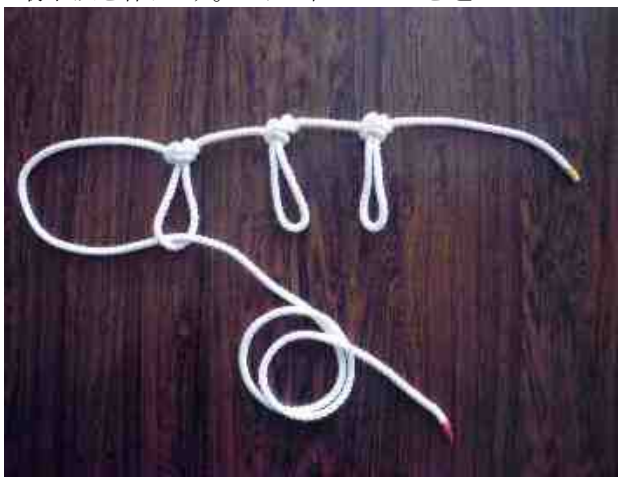
13. ひっくり返します！！



14. こんな感じ。



15. 最下段を作ります。アイの中にロープを通して・・・

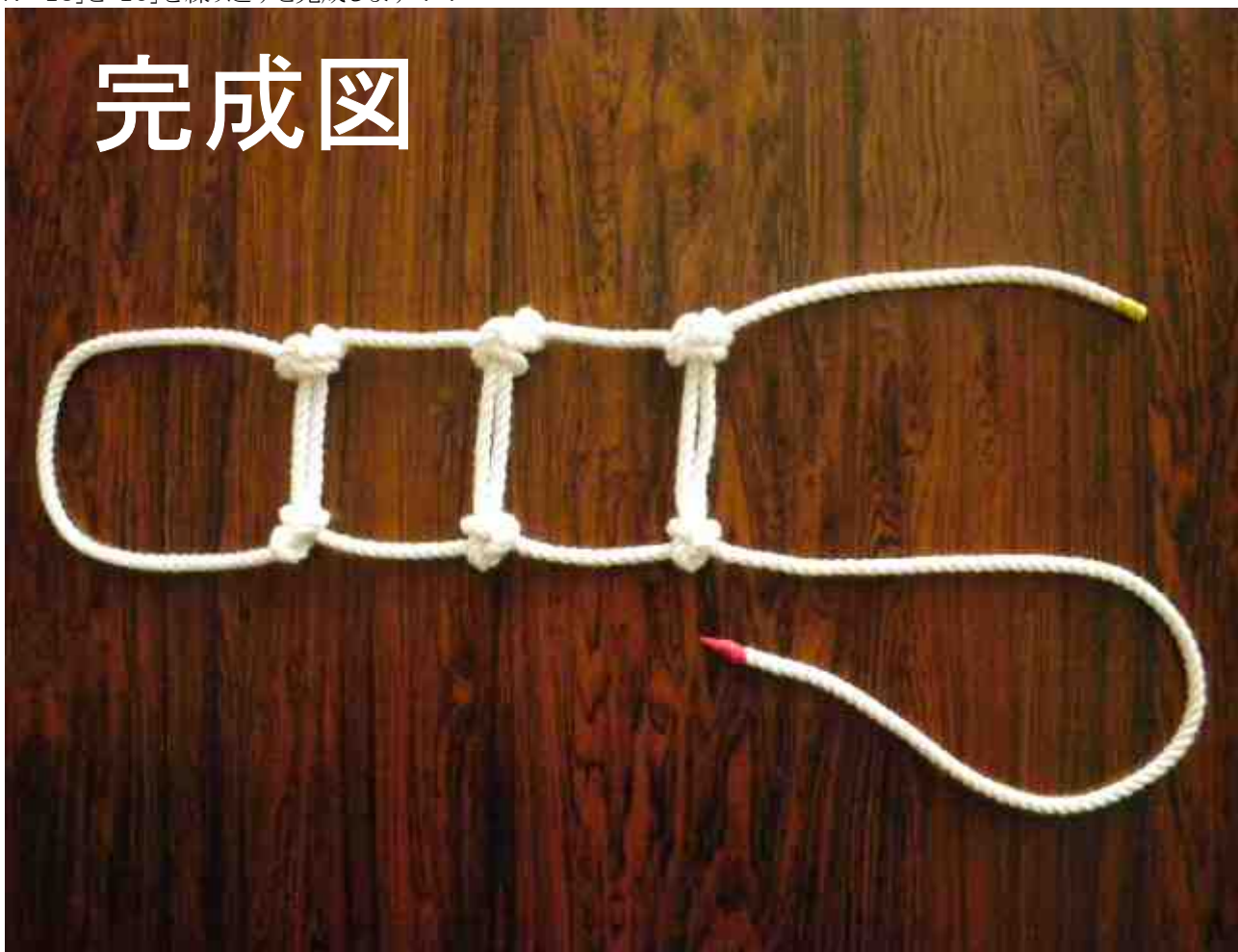


16. こんな形に結びましょう。



NOTE

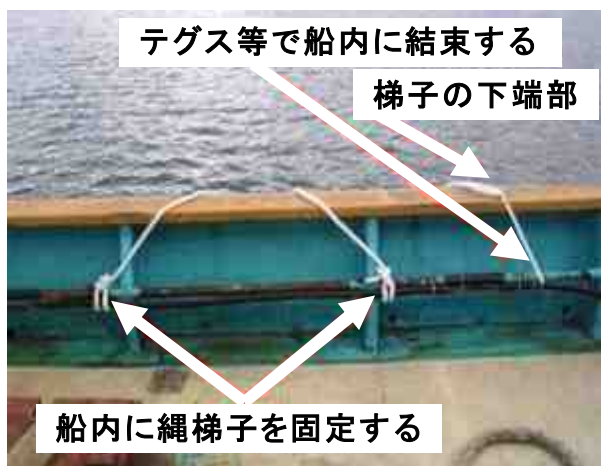
17. 「15」と「16」を繰り返すと完成します！！



完成図

【設置方法】

18. 作成した縄梯子を、船内に取り付けます。



19. 舷側に他のロープがいくつもあつたり、船体とロープが同色で見にくいといった場合には、他の海中転落者を救助する際にもすぐ見分けがつくよう、目印をつけてみてはいかがでしょうか。

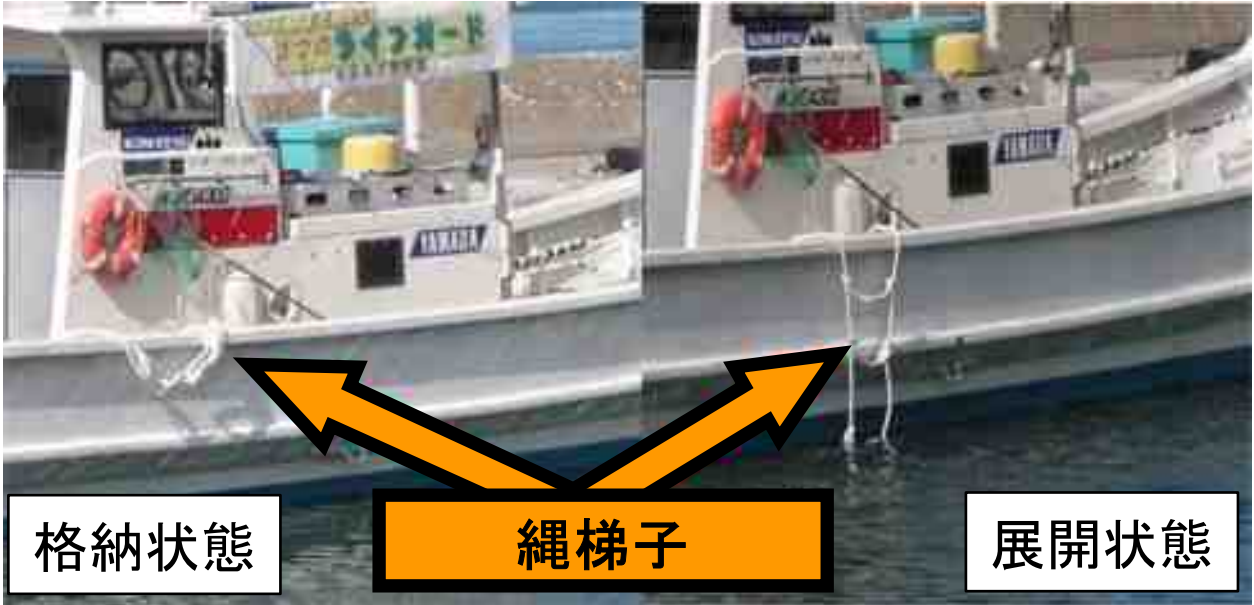


この矢印は、レスキューアローと呼ばれるものです。



高知海上保安部謹製のレスキューアロー、
拡大・縮小し、ラミネート加工等してご活用ください。

【使用方法】



1. 海中転落してしまった！！
2. でも大丈夫、慌てずに格納状態の縄梯子に手を伸ばし・・・
3. 引き寄せます！！（この時、「17」で紹介した格納用テグスが切れ、展開状態となります）
4. あとは悠々と縄梯子を上がるだけ。

【！！注意！！】

- ・縄梯子は、海中転落した際にも容易に船上へ戻れるように備える、補助的なものです。
- ・不意の海中転落では、パニックに陥ってしまいます。必ず救命胴衣を着用しましょう。

NOTE

高知海上保安部



©JCGA